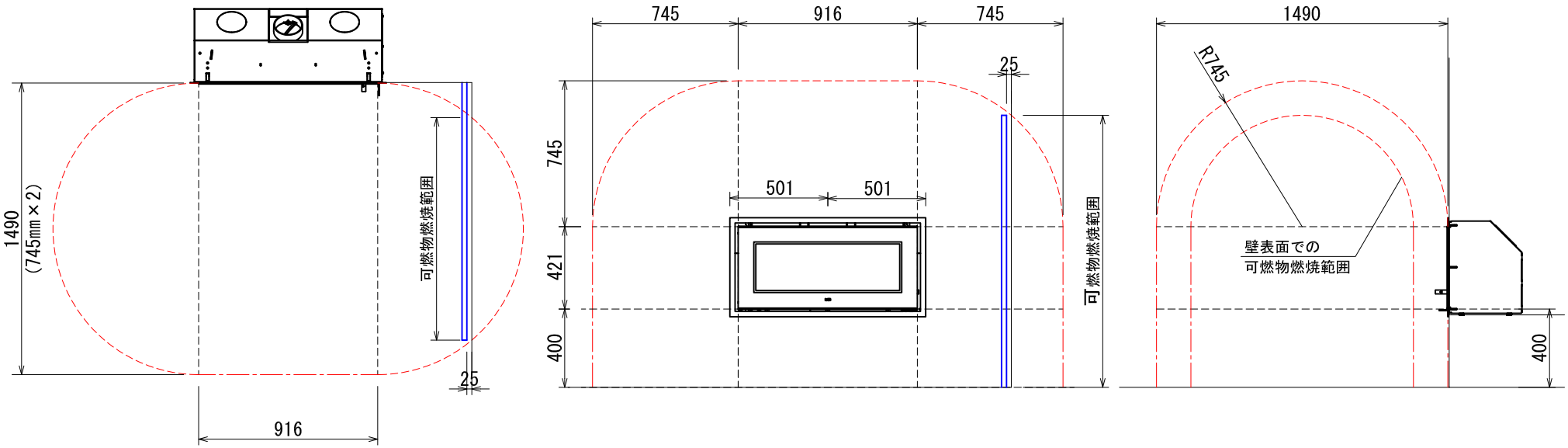
*ストーブ等可燃物燃焼部分

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。

正　側　平　面　図



ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

RS911:RAIS900　内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

Ａｖ	Ｌｓ					
385,636mm2	745mm					

Av=暖炉開口部面積　　Ls=暖炉可燃物燃焼基準距離

図　面　名	RAIS900 内装制限告示内容に 基づく設置図面
縮　　尺	１/３０
ダッチウエストジャパン株式会社	

内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種　RS-911 ： RAIS900

最大熱出力/時間	7,700	Kcal/h
	9.0	Kw
最大熱出力/　秒	2.14	Kcal/s

Av ： **暖炉開口部面積**

Av　（開口部面積）　＝　916　×　421　＝　385,636 mm^2

※壁付暖炉の条件として、W=1000㎜以内H=750㎜以内とする

Ls ： **暖炉可燃物燃焼基準距離**

Ls1　（開口部）　＝　1.2　×　√Av(開口部面積)　≒　745　mm

（暖炉開口部がガラス等によって適切に覆われている場合）

発熱量、15,480kcal/s 以下 のストーブ